

## 豊祝（豊澤本店）

豊澤本店は、大阪の天王寺で 1800 年代に豊澤儀助（生没年不詳）によって設立された。会社はもともと日本酒の取引を行っていただけで、独自の日本酒を製造していたわけではなかった。しかし、1868 年に儀助は醸造を開始し、奈良に同社の主要な醸造所となるものを設立した。1953 年、伏見の純水に魅了された同社は、伏見に事業を拡大した。今日、豊澤本店は白菊水を使用して、その代表的な酒である豊祝を生産している。豊祝は「prosperity」と「celebration」を意味する漢字で書かれており、どちらも会社の創業者が書いた俳句から取ったものである。

稲美のり  
国も豊よ  
祝い酒

稲が実った  
国が繁栄する  
酒で祝おう

現在、この蔵元では毎年約 180 キロリットルの日本酒を生産しており、豊祝、純米大吟醸京纏、大吟醸清滝の雫の銘柄を西日本に出荷している。

5 代目当主の豊澤義也は、「飲んでいただいた全ての人々が楽しく、そして幸せな気分になれるようなお酒」を作るといふ儀助の方針を今も守っている。豊澤本店の日本酒は、淡麗辛口な後味であるにもかかわらず、優しい口当たりの伏見の日本酒である。